

公益財団法人 三菱UFJ信託奨学財団

2022年度(令和4年度) 事業報告書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

法人の概況

1. 当財団は、昭和28年11月9日に三菱信託銀行（現 三菱UFJ信託銀行）の寄付金をもって設立された。
2. 定款に定める目的
わが国における銀行、信託、証券等の金融部門その他一般産業の進展による社会文化の向上発展に寄与するため、人材の養成及び学術研究の発達を図ることを目的とする。
3. 定款に定める事業内容
 - (1) 将来実業に従事し、または学術の研究に当たろうとする学生及び留学生に対する学資の給与ならびに奨学生に対する指導・助言
 - (2) 学術の研究及び普及の助成
 - (3) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

事業の状況

2022年度における事業の概要は次のとおりである。

1. 学資給与事業

(1) 一般奨学生

① 事業内容

奨学生(支給休止中の学生を含む)の数は368名。2022年4月～2023年3月の奨学金支給額は次のとおりである。

		月額(円)	人数(名)	年度支給額(円)
日本人	大学生	35,000	267	110,460,000
	大学院生	55,000	50	31,845,000
留学生	大学生	70,000	19	15,120,000
	大学院生	100,000	32	31,900,000
合計			368	189,325,000

奨学生の所属大学は次の通りである。

大学別奨学生数
(2022年度)

	日 本 人		留 学 生		合 計
	大 学	大 学 院	大 学	大 学 院	
青 山 学 院 大 学	7	0	0	0	7
岩 手 大 学	3	0	0	0	3
大 阪 大 学	7	4	1	2	14
岡 山 大 学	3	0	0	0	3
小 樽 商 科 大 学	3	0	0	0	3
香 川 大 学	3	0	0	0	3
学 習 院 大 学	4	0	0	0	4
鹿 児 島 大 学	3	0	0	0	3
金 沢 大 学	3	0	0	0	3
関 西 大 学	7	0	0	0	7
関 西 学 院 大 学	7	0	0	0	7
九 州 大 学	6	2	1	3	12
京 都 大 学	8	6	3	3	20
慶 應 義 塾 大 学	15	4	2	2	23
工 学 院 大 学	3	0	0	0	3
神 戸 大 学	6	2	0	2	10
国 際 大 学	0	0	0	4	4
国 際 基 督 教 大 学	4	0	0	0	4
静 岡 大 学	3	0	0	0	3
上 智 大 学	7	1	2	1	11
信 州 大 学	3	0	0	0	3
成 蹊 大 学	5	0	0	0	5
西 南 学 院 大 学	5	0	0	0	5
創 価 大 学	6	0	0	0	6
千 葉 大 学	2	0	0	0	2
中 央 大 学	9	2	0	0	11
筑 波 大 学	4	3	0	2	9
東 京 大 学	10	6	2	3	21
東 京 外 国 語 大 学	4	0	1	1	6
東 京 工 業 大 学	4	3	0	1	8
東 京 理 科 大 学	5	2	0	0	7
同 志 社 大 学	7	0	1	0	8
東 北 大 学	9	3	0	2	14
獨 協 大 学	4	0	0	0	4
長 崎 大 学	3	0	0	0	3
名 古 屋 大 学	7	2	0	1	10
南 山 大 学	3	0	0	0	3
一 橋 大 学	6	3	0	0	9
広 島 大 学	7	0	0	0	7
福 島 大 学	3	0	0	0	3
法 政 大 学	8	0	1	0	9
北 海 道 大 学	6	3	0	2	11
明 治 大 学	8	0	0	0	8
山 梨 大 学	3	0	0	0	3
横 浜 国 立 大 学	6	0	0	0	6
立 教 大 学	7	0	0	0	7
立 命 館 大 学	7	0	1	0	8
早 稲 田 大 学	14	4	4	3	25
合 計	267	50	19	32	368

② 採用、面談、交流会等活動状況

イ. 採用

2022年6月24日にウェブ会議で開催された選考委員会において、一般奨学生137名及び特別留學生3名の新規採用が決定された。

選考委員会の出席者は次の通りである。(五十音順)

委員	大庭照雄
委員(当財団事業部長)	國房もゆる
委員	小林順治
委員	詹 萍
委員	高尾真紀子
委員(当財団常務理事兼事務局長)	富永保人
委員	林 徹

ロ. 面談

コロナ禍が継続するなか、春の面談はウェブ面談とし、前年面談していない継続生98名を対象に実施した。なお、前年ウェブ面談した継続生については、近況報告を記した面談メモの提出をもって面談に代えた。

秋の面談についても引続きウェブ面談とし、2022年度に新規採用された一般奨学生134名を対象に実施した。また、特別留學生3名とは来日直後に財団事務局で、年明けにウェブで面談をそれぞれ実施した。

また、秋の面談の際、一部の大学奨学金担当部署(一橋/名大/神戸/中央/理科大/同志社)とコロナ禍での対応状況や来年度の募集等について、オンラインで意見交換を実施した。

ハ. 交流会

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年秋に各地区で開催する交流会ならびにOB・OG会は中止とした。

特別企画として11月25日に2023年3月末修了予定の奨学生で参加希望者を対象に「オンライン交流会」を開催、最終的に61名(奨学生54名/OB・OG2名/財団5名)が参加した。

ニ. 年報

年報「SCHOLARSHIP 2022」を作成、11月上旬に奨学生、大学関係部署、財団関係者等に配布した。

(2) 特別留學生

新規採用3名(コロンビア大学、ステレンボッシュ大学、チュラロンコン大学)に対し、次の通り奨学金を支給した。

授業料	505,200 円
生活費	2,100,000 円
計	2,605,200 円

なお、特別留學生3名の所属大学は次の通りである。

立教大学、早稲田大学

2. 研究助成事業

(1) 2022年度の助成対象研究および年度支給額は、次のとおりである。

Values Based Bankingによる地域通貨の設計に関する研究会

2,500,000円

「Values Based Banking（価値を大切にする金融）による地域通貨の設計に関する研究」

（代表者 法政大学大学院政策創造研究科教授 高尾真紀子）

(2) 2023年度の助成案件については、2022年9月1日から11月30日まで行った公募に応募はなく、その後応募実績ある研究会に個別に声掛けしたところ1件の応募があった。2023年3月23日に開催された選考委員会において審議の結果、助成総額250万円で採用された。

【採用案件】

高齢者法研究会

2,500,000円

「高齢者の経済的課題を支える保護と意思決定支援」

（代表者 横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授 関ふ佐子）